

経営企画・IR・サステナビリティ部門 実務担当者のための：

『サステナビリティ経営』入門 講座

～社会の持続可能性に配慮した経営を実現するための基礎知識～

■日時■ 2019年 9月25日 水曜日 13:00～16:30

■会場■ 東京・麹町「厚生会館」5階 会議室 ※東京外口:有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩2分

■講師■ (株)野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部

プリンシパル 国際公共政策博士 伊吹 英子 氏

上級コンサルタント 羽生 竜平 氏 各講師のプロフィールは裏面

■ご参加いただきたい皆様■

1. サステナビリティ経営(SDGs/CSV/ESG)の重要性を認識している企業で：

- 新規ご担当者でサステナビリティ経営の基礎知識を習得されたい方
- サステナビリティ展開の重点実務を後進に指導したい方

2. サステナビリティ経営(SDGs/CSV/ESG)を展開している企業で：

- サステナビリティ活動の「攻めの戦略」を明確にしたい方
- サステナビリティの視点からビジネスモデルの変革を考察されたい方
- CSR経営からサステナビリティ経営への移行を模索されている方

左記企業の
◇経営層(トップ、役員)
◇CSR・サステナビリティ部門スタッフ
◇企画部門スタッフ
◇広報・IR部門スタッフ
◇人事・総務・法務部門スタッフ
◇事業部門スタッフ&ライン

■本研究講座の特長：「社会の持続可能性に配慮した経営」の重要コンセプト■

近年、サステナビリティ(持続可能性)に関する企業の取り組みがグローバルレベルで大きく進展しています。日本でも、従来、CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の取り組みが継続され、加えて投資家観点からのESG(環境・社会・ガバナンス)対や競争戦略としてのCSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)による長期視野での事業成長など『サステナビリティを経営』を強化する動きが活発化しています。

しかしながら、真の意味で企業成長にプラスに寄与する戦略を持ち、それが社員の意識に徹底され実践されている日本企業は数少ないのが現状です。一方、海外を含む先進企業は、持続的な成長のため、サステナビリティの観点を戦略・経営の中核に積極的に取り入れており、今後、企業の取り組みも一層進展することが想定されます。

サステナビリティ経営を中長期的に企業価値につなげていくためには、実行主体である関係部門が主体的に連携し、サステナビリティの観点から経営・事業の質を高めていく必要がありますが、実際には、課題が山積しているのが現状です。

本講座では、経営にとって価値あるサステナビリティ経営を実践するための「サステナビリティ戦略の基本的考え方」を説明するとともに、企業がサステナビリティの重要性を認識し、経営・事業戦略の中核に位置付けることが中長期的な競争力強化に有効であるとの認識のもと、推進部門のミッションや方針・戦略の立案方法、社内展開方法などの基本実務・方法論について企業事例を取り入れながら説明いたします。サステナビリティ経営の基本実務を再確認したい、サステナビリティ経営の強化に向けた糸口を見出したい皆様に、是非ご出席いただければと存じます。

弊会ホームページからのお申込みが便利です。https://www.bri.or.jp

●受講料● 1名(税込み、資料代含む)

正会員	34,560円	本体価格 32,000円
一般	37,800円	本体価格 35,000円

●当会ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー 検索

●お申込み後(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

●最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。

●申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号のお間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp

携帯：080-1393-5598 FAX：03-5215-0951

102-0083 千代田区麹 5-7-2MF P R 麹町ビル 2F

191669-0401※	19-9-25	サステナビリティ経営：入門講座	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部 課 役 職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部 課 役 職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

プリンシパル 伊吹 英子 氏

早稲田大学大学院理工学研究科修了、大阪大学大学院国際公共政策博士後期課程修了。国際公共政策博士。専門は、CSRやサステナビリティ(ESG/CSV/SDGs)に関するビジョン・戦略構築と実行支援、バランス・スコアカードを用いた経営管理システム改革など。NRIのCSR・サステナビリティコンサルティングの実績をゼロから創り上げ、現在は、幅広い業種の経営・事業戦略立案、CSRのビジョン・戦略立案、経営管理システム改革などのコンサルティングに従事。2002年度筑波大学大学院非常勤講師、2004年度大阪大学大学院非常勤講師、2006年度より2011年度まで日NPO学会理事。



上級コンサルタント 羽生 竜平 氏

東京大学大学院工学系研究科修了 専門は、組織変革やビジョン・中期経営計画の策定支援。近年は、デジタル技術を活用した業務変革支援や新規事業検討支援、CSV/サステナビリティをコンセプトとした経営戦略の策定や、CSR/ESGとデジタル技術を融合させたサービス設計などのコンサルティングに従事。



●プログラム●

13:00

第Ⅰ部 サステナビリティ経営による持続的成長に向けた基礎知識

1. はじめに：サステナビリティ経営に関する概念
 - ・サステナビリティ経営に関する概念整理
 - ・日本企業の経営との親和性・課題
2. なぜサステナビリティ経営なのか
 - ・企業経営を取り巻く潮流
 - ・サステナビリティ経営を後押しする変化
 - ・SDGsの概要
3. サステナビリティ経営に取り組む意義
 - ・競争戦略としての寄与
 - ・リスクヘッジとしての寄与
 - ・ロイヤルティ・エンゲージメントへの貢献
4. サステナビリティ経営の進化に向けたステップ
 - ・サステナビリティと経営・事業戦略の統合プロセス
 - ・マテリアリティ（重要社会課題）の特定
 - ・ビジョン・経営計画における社会価値の位置づけ方
5. サステナビリティ経営の確立に向けて
 - ～国内・海外企業における先進事例（各章に関連し随時ご紹介）～

～質疑応答・討議～

14:30

休憩

14:40

第Ⅱ部 ESG投資がもたらす経営へのインパクト —戦略的情報開示と統合報告—

1. ESG投資を巡る資本市場の動き
 - ・ESG投資比率のグローバル比較
 - ・投資家の動向
 - ・ESG対応の意義
2. ESGへ企業がどう取り組むべきか
 - ・主要なESG指数の概要
 - ・ESG情報開示の考え方・取り組みステージ
 - ・統合報告の考え方・取り組みステージ
3. ESG情報開示に向けた実践的な対応
 - ・主要ESG指数への実践的な対応
 - ・統合報告の検討プロセス
 - ～国内・海外企業における先進事例（各章に関連し随時ご紹介）～

～質疑応答・討議～

16:30

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。